言葉1 相手や場に応じた言葉遣い

相手や場に応じた言葉遣い

相手とどのような関係か、どのような場での発言か、など、状況に応じて適切な言葉遣いをすることが大切である。敬語を使うか、改まった表現とくだけた表現のどちらを使うかなど、表現の使い分けに気をつける。

●相手との関係に応じた言葉遣い

目上の人や初対面の人などに対しては、敬語や改まった表現が用いられる。一方、親しい相手に対して敬語や改まった表現を使うと、よそよそしい印象を与えてしまう。

●場や状況に応じた言葉遣い

公的な場では、敬語や改まった表現が用いられる。私的な場では、相手との関係に応じて、くだけた表現を使って親しみを表すこともある。

言葉には、改まった印象を与えるもの、くだけた印象を与えるものがある。状況に応じてより適切な言葉を選ぶようにする。

（例）さっき・さきほど　※「さきほど」のほうが改まった表現。

間違えやすい敬語

敬語は、相手に対する敬意を表すほか、改まった気持ちを表したり、相手との距離をとったりする働きがある。状況や相手との関係に応じて、適切な敬語を使うことが大切である。敬語を使うときは、次の点に注意する。

・尊敬語と謙譲語を混同しない。

・自分や、身内など自分に近い人に尊敬語を使わない。

（例）×お父さんは今　×いらっしゃいません。
　↓　父は今おりません。

・敬語を重ねすぎない。

（例）×お話を　×お承りする。　↓　お話を承る。
×お読みになられる。　↓　お読みになる。

確認テスト

(1) 次の――線部の言葉を、改まった言葉遣いに直しなさい。

（改まった場で）会場までご案内するよ。

〔　　　〕

(2) 次の①〜③の各組の言葉で、より改まった表現をそれぞれ選びなさい。

① **ア** きのう　**イ** さくじつ

② **ア** きょう　**イ** ほんじつ

③ **ア** あす　**イ** あした

①〔　　〕②〔　　〕③〔　　〕

(3) 次の――線部の敬語を、解答欄に合うように正しく直しなさい。

私からご説明になる。

ご説明〔　　〕

(4) 次の――線部の敬語を正しく直しなさい。

声をかけてくださられた。

〔　　　〕